1 取り組み紹介

オファリング組織としての提供価値最大化に向けて

2021 年 6 月、杉山洋氏が株式会社 NTT データ（以下、NTT データ）コンサルティング & ソリューション事業本部長に着任した。これまでインダストリー組織から同事業本部との連携を図ってきた杉山氏が、今後、同事業本部のあり方をどのように考えているのかを語っていただいた。

オファリング組織の重要性の高まり

NTT データでは「Clients First」や「Long Term Relationship」という価値観に象徴されるように、お客様を第一に、お客様にしっかりと寄り添う側面から、個々のお客様を担当するインダストリー組織が重要視されてきた。これまでインダストリー組織に所属していた私自身もそれが重要と思っており、今後も重要視されるべきだと思っている。

一方でデジタル化が加速する昨今の世の中に目を向けると、これまでとは比べ物にならないスピード感や多様なテクノロジーの出現など、明らかに環境が変化している。急激に変化する環境の中でインダストリー組織が個別に全てに対応することには無理があり、効率的ではない。今後は、特定のサービスやテクノロジーを通じて幅広いお客様へ価値を提供できる専門性を有し、時代の変化に追随して、それぞれの領域でアップデートを継続できるコンサルティング & ソリューション事業本部のようなオファリング組織の重要性が一段と高まっていると感じられる。これはコンサルティング & ソリューション事業本部に着任する前から感じて

株式会社 NTT データ
執行役員
製造 IT イノベーション事業本部長
コンサルティング & ソリューション事業本部長
杉山 洋氏

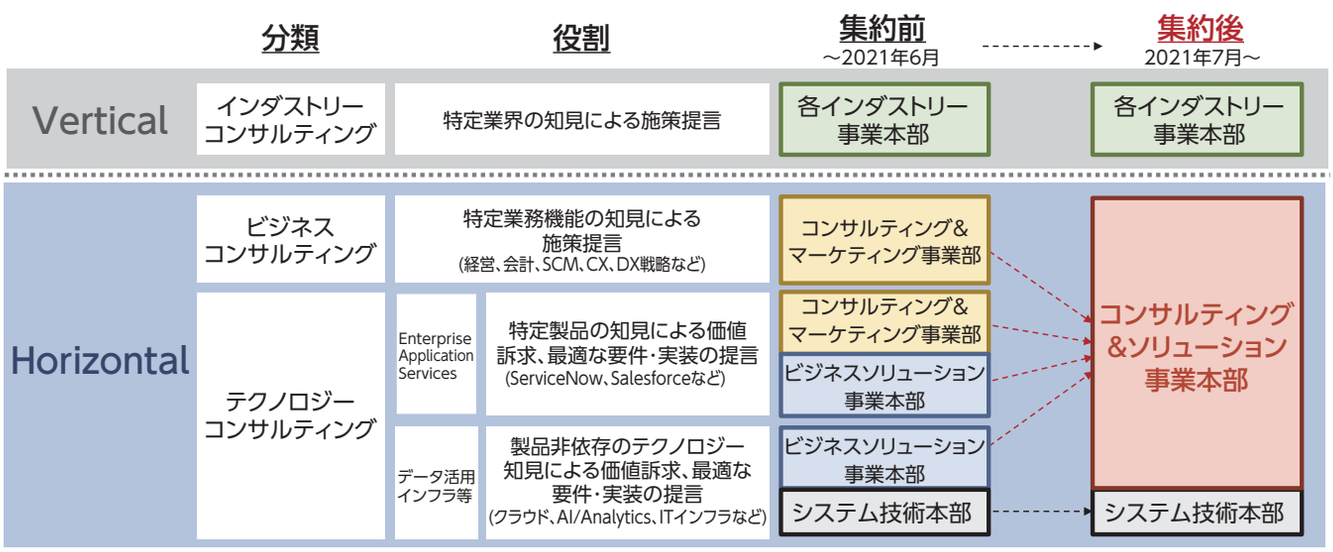

図 1　コンサルティング機能の統合・強化

いたことだが、着任後にその思いを一層強く持つようになった。

コンサルティング機能の統合・強化

本年7月に製造ITイノベーション事業本部に所属していたコンサルティング＆マーケティング事業部（以下、C&M事業部）を移管し、ビジネスソリューション事業本部（以下、BS事業本部）からコンサルティング＆ソリューション事業本部に組織名を改めた（図1）。その第一の狙いは、旧C&M事業部に保有されていたビジネスコンサルティング、及びテクノロジーコンサルティングの機能と、旧BS事業本部の各事業部に分散していたテクノロジーコンサルティングの機能を統合し、NTTデータとしてのコンサルティング機能を最大化することだ。ビジネスコンサルティングとテクノロジーコンサルティングの活動を一体的に進めやすくなったことで、お客様の経営課題に則したオファリングやテクノロジーをスムーズに提供する効果を生み出しつつある。

さらに個々の業界やお客様企業への深い理解を有するインダストリーコンサルティングの機能が確立され、インダストリー課題とビジネス（業務）課題の結節点にそれを解決するオファリングがアラインする、といった形が理想であり、それに近いことが出来つつあると感じている。このような状態になれば、お客様の経営に価値提供できる真のオファリングを提供できている、と胸を張って言えるのではないだろうか。

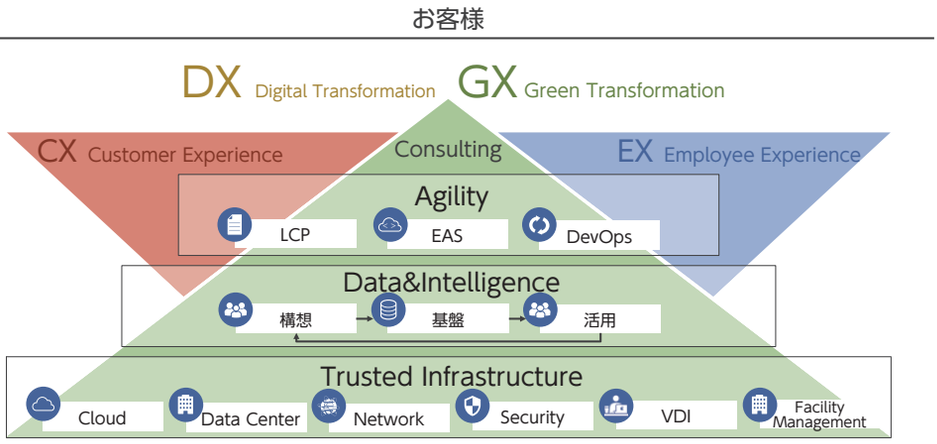

図2　コンサルティング＆ソリューション事業本部のオファリング

提供する価値は、スピード、知恵、信頼

現在、私たちオファリング組織の提供する価値は何かを改めて議論している。その中で、ビジネスに「スピード」、「知恵」、「信頼」を与えるという方向感でコンセンサスを得ている。

「Agility」でビジネスに「スピード」をもたらし、「Data & Intelligence」でビジネスに「知恵」をもたらし、「Trusted Infrastructure」でビジネスに「信頼」をもたらしていきたいと考えている（図2）。

「Agility」では、クラウドネイティブ開発やDevOps、ServiceNowなどによるローコード開発、Salesforceのようなエンタープライズアプリケーションサービス）など、アジリティの高い開発を提供していく。

「Data & Intelligence」では、データを蓄積する基盤構築に加え、データマネジメントやAI・アナリティクスによるデータ活用を進めるための直接的なご支援、及びお客様企業の人材育成などのサービス提供を進めている。

「Trusted Infrastructure」では、クラウドサービス活用を前提とした、データセンターやネットワークなどのインフラを最適な構成とするためのインテグレーションと、ハイブリッドな環境をトータルで管理するためのマネージドサービスを提供している。さらに、クラウド活用や働き方の多様化に対応したセキュリティの提供を進めている。

これらの様々なオファリング、サービスをお客様の経営課題の解決につなげるために、コンサルティング機能と確実に連携させていきたい。

目指すべき社会の実現への貢献

今後のNew Normalな社会や目指すべきデジタル社会の方向性として、NTTデータグループでは

・Re-Design by Digital
・With Technology & Data

という二つのキーワードを発信している。生活者のQuality of Lifeを維持していくための、俊敏に変化をし続けていくレジリエントな社会の実現に向けて、オファリングの側面からしっかりと貢献できるよう取り組んでいきたいと考えている。